

平成28年12月22日

保護者 様

尼崎市立尼崎北小学校

校長 川見 孝 男

平成28年度 全国学力・学習状況調査 結果報告

平成28年度の全国学力・学習状況調査が、去る4月19日に6年生児童を対象に行われました。その調査内容は、下記①～④の内容項目です。

①国語A：主として知識問題

②国語B：主として活用問題

③算数A：主として知識問題

④算数B：主として活用問題

以下、結果に基づいて、報告いたします。

国語A					国語B				
区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)			区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		尼崎北小学校	兵庫県(公立)	全国(公立)			尼崎北小学校	兵庫県(公立)	全国(公立)
話すこと・聞くこと	1	80	78	79	話すこと・聞くこと	3	53	51	51
書くこと	2	72	73	73	書くこと	6	49	53	53
読むこと	2	75	79	79	読むこと	3	73	69	69
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	67	71	71					

算数A					算数B				
区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)			区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		尼崎北小学校	兵庫県(公立)	全国(公立)			尼崎北小学校	兵庫県(公立)	全国(公立)
数と計算	10	78	81	81	数と計算	6	41	45	44
量と測定	2	74	76	77	量と測定	5	44	44	44
図形	2	78	78	79	図形	3	33	37	36
数量関係	3	70	68	69	数量関係	6	43	43	43

【国語A】設問別では、全国の平均正答率を若干下回っています。特に、「書くこと」や「読むこと」、「国語の特質に関する事項」については、課題があります。また、ローマ字や漢字など言語に関する基礎知識には、努力が必要です。一方、「話すこと・聞くこと」については、1.0ポイント全国を上回っています。

【国語B】設問別では、多くの設問で、全国の平均正答率を上回っています。特に、「話すこと・聞くこと」では、A問題同様、2ポイント全国を上回っています。また、「読むこと」においても、4ポイント全国を上回っています。課題としては、自分の考えをまとめるために図やグラフなどを効果的に用いたり、文章と図やグラフなどを関連付けて書いたりすることがあげられます。

【算数 A】設問別では、「数量関係」で、1 ポイント全国を上回っていますが、その他の領域で、1～3 ポイント下回っています。「数と計算」では、基準量、比較量、割合の関係を正しくとらえることに課題があります。

【算数 B】設問別では、「数量関係」と「量と測定」において、ほぼ全国の平均正答率とならんでいます。「数と計算」「図形」の領域で、3 ポイント程度下回っています。事柄が成り立つことを図形の性質に関連付けて考えることに課題があります。

2 児童の学力向上にむけた学校の取り組み

(1) 教科における指導改善の具体的なポイント

①国語科

・取材した内容をまとめる文章を書くような学習では、目的や意図に応じ、取材した複数の内容から取捨選択し、伝えたいことが読み手に伝わるような文章が書けるよう指導する。

・目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出すことは比較的よくできているので、文章と図やグラフなど関係付けて読んだり、資料を見て自分の考えを書いたり話したりする指導を意図的に行う。

・ローマ字や漢字の反復学習などにより、言語についての知識・理解を更に深める。

・主語と述語、修飾と被修飾との関係に注意し文の構成を理解する指導を充実させる。

②算数科

・日常生活の事象などを取り入れ、単位量あたりの大きさを活用し合理的に判断、処理するような活動を進める。

・日常生活から図形を見だし、図形の約束や性質と関連づけて考えるような活動を取り入れる。

・示された情報から基準量と比較量を認識するために、その関係を図や数直線で考えたり、具体物を使って体験的に捉えたりすることができるようにする。

(2) 学習意欲を高める

子どもたち一人ひとりが、学びの目標やねらいを持ち、達成する喜びを味わいながら、学習を進めていくことができるようにする。

(3) 支援体制を充実する

少人数制による指導、高学年での教科担任制、中学年における放課後学習での教科指導のサポートなど、支援体制の充実を図る。

(4) 主体的な家庭学習にむけて

児童みずからが取り組む学習を大事に支援する。モデルノートや見本となるノートを準備し、児童の頑張りを賞賛しながら取り組む。学校で学んだ基礎・基本的な内容をもとに発展・活用へとつないでいき、自学の学びを楽しめるように指導していく。

今後、ご家庭のお力をかりながら、児童の学習に対する意欲を大切に、一人ひとりに確実に学力が定着していくよう指導していきたいと考えています。 (以 上)